

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年2月10日

上場会社名 株式会社アドバネクス 上場取引所 東
 コード番号 5998 URL https://www.advanex.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 加藤 精也
 問合せ先責任者(役職名) 取締役最高財務責任者(氏名) 吉原 哲也 (TEL) 03-3822-5865
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	16,181	16.6	221	—	348	116.3	△62	—
2021年3月期第3四半期	13,873	△12.8	19	△82.5	160	907.9	650	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 117百万円(△85.2%) 2021年3月期第3四半期 793百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△15.24	—
2021年3月期第3四半期	158.97	158.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	25,551	6,388	25.0
2021年3月期	23,730	6,323	26.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 6,380百万円 2021年3月期 6,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	4.9	300	70.3	200	△44.3	100	△84.2	24.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	4,153,370株	2021年3月期	4,153,370株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	44,753株	2021年3月期	55,446株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	4,104,369株	2021年3月期3Q	4,094,174株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は先進国を中心にワクチン接種が進み、景気も徐々に回復する一方、原材料や物流コストの高騰、世界的な新型コロナウイルスのオミクロン株急拡大により不透明感が再び増してきています。加えて、当社の主要市場である自動車業界は、需要こそ旺盛であるもののアセアンからの自動車部品供給の遅れや、半導体、樹脂材等の原材料不足により生産計画が見直され、当社業績にも少なからず影響がありました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比16.6%増の161億81百万円となり、営業利益は2億21百万円（前年同四半期は19百万円の利益）、経常利益は前年同四半期比116.3%増の3億48百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は62百万円（前年同四半期は6億50百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 日本

自動車向けを中心に需要が回復し、売上高は前年同四半期比10.1%増の63億51百万円、セグメント利益は2億92百万円（前年同四半期は22百万円の損失）となりました。

② 米州

自動車、医療向けの需要が回復し、売上高は前年同四半期比29.4%増の20億2百万円となりましたが、米国工場移転に伴う費用の計上や、メキシコ工場におけるプロジェクト立上げコストの発生などによりセグメント損失は4億67百万円（前年同四半期は2億62百万円の損失）となりました。

③ 欧州

自動車、医療向けが好調だったことから、売上高は前年同四半期比8.9%増の15億3百万円となりましたが、航空機向けの減少などプロダクトミックスの悪化によりセグメント利益は同63.4%減の33百万円となりました。

④ アジア

自動車向けを中心に需要が回復し、売上高は前年同四半期比22.2%増の63億24百万円、セグメント利益は同80.4%増の3億68百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18億20百万円増加し、255億51百万円となりました。

資産の部においては、流動資産合計額が11億93百万円増加し133億37百万円となりました。主な理由は、現金及び預金が3億19百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が5億34百万円、棚卸資産が10億33百万円増加したことによるものであります。また、固定資産合計額は6億27百万円増加し、122億14百万円となりました。有形固定資産が5億36百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債の部においては、負債合計額は191億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億55百万円増加しました。主な理由は、借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の部においては、純資産合計額が63億88百万円となり、前連結会計年度末に比べて65百万円増加しました。主な理由は、親会社株主に帰属する四半期純損失62百万円の発生等により株主資本合計が98百万円減少しましたが、為替換算調整勘定が1億80百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は25.0%（前連結会計年度末は26.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月14日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,899,489	3,579,569
受取手形及び売掛金	4,720,132	5,254,932
商品及び製品	1,250,147	1,576,586
仕掛品	697,541	802,316
原材料及び貯蔵品	937,769	1,539,736
その他	683,091	624,260
貸倒引当金	△44,512	△39,988
流動資産合計	12,143,659	13,337,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,851,288	3,734,466
機械装置及び運搬具(純額)	3,709,048	3,843,100
土地	997,270	1,014,192
その他(純額)	2,301,640	2,804,117
有形固定資産合計	10,859,246	11,395,876
無形固定資産	62,311	75,088
投資その他の資産	665,601	743,408
固定資産合計	11,587,159	12,214,374
資産合計	23,730,818	25,551,788
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,287,463	3,508,019
短期借入金	1,868,510	2,270,298
1年内返済予定の長期借入金	2,905,859	3,330,449
リース債務	168,697	191,524
未払法人税等	193,134	138,819
賞与引当金	151,075	121,253
製品保証引当金	77,637	79,172
その他	1,318,307	1,161,645
流動負債合計	9,970,684	10,801,182
固定負債		
長期借入金	4,963,115	5,902,264
リース債務	933,352	947,317
繰延税金負債	254,450	283,571
資産除去債務	52,275	52,190
退職給付に係る負債	1,207,178	1,153,047
その他	26,394	23,429
固定負債合計	7,436,767	8,361,820
負債合計	17,407,451	19,163,002

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	250,000	250,000
利益剰余金	5,201,273	5,083,924
自己株式	△96,212	△77,528
株主資本合計	6,355,060	6,256,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,091	560
為替換算調整勘定	△85,504	94,586
退職給付に係る調整累計額	24,483	28,648
その他の包括利益累計額合計	△55,929	123,796
新株予約権	24,235	8,594
純資産合計	6,323,366	6,388,785
負債純資産合計	23,730,818	25,551,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	13,873,313	16,181,792
売上原価	10,737,736	12,593,911
売上総利益	3,135,576	3,587,880
販売費及び一般管理費	3,115,647	3,366,640
営業利益	19,929	221,240
営業外収益		
受取利息	17,916	15,926
受取配当金	2	1
受取賃貸料	47,258	58,830
為替差益	105,319	187,972
補助金収入	57,420	4,696
その他	93,352	59,777
営業外収益合計	321,270	327,205
営業外費用		
支払利息	131,797	160,474
その他	48,427	39,851
営業外費用合計	180,225	200,326
経常利益	160,974	348,118
特別利益		
固定資産売却益	876,994	1,764
特別利益合計	876,994	1,764
特別損失		
固定資産売却損	882	818
固定資産処分損	592	9,371
和解金	79,402	—
訴訟関連損失	35,594	43,442
事業譲渡損	—	57,021
特別退職金	—	75,275
新型コロナウイルス感染症関連損失	39,820	—
その他	10,587	—
特別損失合計	166,878	185,931
税金等調整前四半期純利益	871,089	163,952
法人税、住民税及び事業税	217,548	213,278
法人税等調整額	2,694	13,238
法人税等合計	220,242	226,516
四半期純利益又は四半期純損失(△)	650,847	△62,564
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	650,847	△62,564

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	650,847	△62,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,684	△4,531
為替換算調整勘定	107,275	180,091
退職給付に係る調整額	27,331	4,165
その他の包括利益合計	142,291	179,725
四半期包括利益	793,138	117,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	793,138	117,161

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、収益は顧客との契約において約束された対価から、値引き、リベート及び返品などを控除した金額で測定しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益及び利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,768,135	1,547,419	1,380,853	5,176,904	13,873,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	549,897	—	72,478	171,923	794,299
計	6,318,032	1,547,419	1,453,332	5,348,828	14,667,613
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△22,518	△262,394	92,663	204,011	11,761

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	11,761
セグメント間取引消去	8,167
四半期連結損益計算書の営業利益	19,929

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	6,351,905	2,002,055	1,503,144	6,324,686	16,181,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	821,952	6,125	34,285	107,713	970,076
計	7,173,858	2,008,180	1,537,430	6,432,400	17,151,869
セグメント利益又は セグメント損失(△)	292,608	△467,674	33,896	368,081	226,911

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	226,911
セグメント間取引消去	△5,671
四半期連結損益計算書の営業利益	221,240

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間に係る各数値に与える影響は軽微であります。